



萩市
HAGI

議会だより

2016.1.15 No.39

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL0838-25-3144



主な内容

議長初春あいさつ

一般質問 18人が質問

常任委員会の審査報告

行政視察報告

世界遺産でインタビュー

世界遺産の萩城下町で、観光客よりボランティアガイドに熱心な質問がとぶ

賀春

本年も、健やかで希望に満ちた初春をお迎えになられましたことと、謹んでお慶び申し上げます。

市民の皆様には、平素より市政に対しまして暖かいご理解と多大なご協力を賜っておりますこと、あらためて厚くお礼申し上げます。

私ども二十六名は、議員として選出されて以来、皆様の負託に応えるべく鋭意議会活動に邁進いたしております。

新年を迎えるにあたり、本年も更なる飛躍に向かい、清新の気がみなぎるのを覚えます。

さて、萩市を取り巻く情勢は、依然厳しく、且つ、目まぐるしく変化しています。

T P Pの今後や、消費税率の引き上げをはじめ少子高齢化に伴う過疎対策、さらには、第一次産業を取り巻く担い手確保等重要な課題に直面しています。

特に、北浦地域の経済振興対策など、これら克服すべく問題に対し、積極的に行動しなくてはならない喫緊の課題が山積しています。

議会といたしまして、皆様の期待の大きさを重く受け止め、昨年来より国の打ち出した「地方創生」の施策を市行政へ最大限取り入れるなど、個性豊かで活力ある地域社会の構築を目指して、それぞれの課題に対し総合的に取り組む

必要があります。

昨年は、合併してはや十年を経過いたしました。本年からは地方交付税の算定替えなど、萩市の財政運営も一部激変が想定されるため、議会としてもこれら変革への対応と積極的な行動が求められており、合併後最も大事な時期に差し掛かると思っています。

国も経済の活性化対策を種々検討しているところではありますが、経世済民なくして地方に活力は出てまいりません。

とりわけ、北浦地域の最優先課題であります山陰自動車道の整備促進は、漸く萩益田間の三工区間において計画段階評価から、対象地域のアンケート調査が実施されるなど、明るい光が見えてきました。

また、小郡・萩道路につきましては、絵堂・明木間の延伸整備が二十八年度に着工するところまでこぎつけるなど一定の前進をいたしました。

まだまだ実現するまで市民の皆様と協働し、引き続き積極的に関係各所に要望活動を展開してまいります。

昨年は、観光戦略の目玉の一つとして、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」が一年間にわたり絶賛放映されました。また、七月には、萩反射炉な



萩市議会議長
横山 秀二

ど萩市の五つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産」がユネスコの世界遺産に登録され多くの観光客で賑わいました。その中には例年の二、三倍に及ぶ観光スポットもあつたと伺っております。

これら超ビッグなこれまでにない出来事を、これからの萩市経済の振興など地域力向上につなげるため、決して一時のブームとならぬようこれらもたらず相乗効果等に期待を寄せます。本年はさらに、日本ジオパーク認定に向けての継続的な取り組みや、一月には薩長同盟百十年を契機とした鹿児島市との友好交流の盟約調印、五月には全国フラワー都市交流会が萩市で開催されるなど、昨年に引き続き、萩の魅力年全国に発信する絶好な機会であります。

また、平成三十年には明治維新百五十年の大きな節目を迎えます。全県を挙げての取り組みが計画されていますが、その中でも維新発祥の地萩市にふさわしく、かつ意義深い記念事業等の推進が期待されます。

さて、議会活動におきましては、改選時から昨年末にかけ、議会改革の一環として、議員自らが考え、自らを律して行くことを目的に、議会運営全般に関して、研究会を設置し多面的に協議・検討を行ってまいりました。

多くの項目について、提言方式の答申が出され、今年はこちらを可能な限り具体化し、実践に努めてまいる所存であります。

終わりに、私達議員は、議決機関として、情勢を誤ることなく、より豊かで住みよい萩市を目指すよう決意を新たにいたしております。

市民の皆様には、引き続き議会活動に対しまして、特段のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

議会の構成・運営に関する 研究会への諮問について（答申）

12月3日に研究会会長より議長に答申書を提出

昨年6月に「議会の構成・運営に関する研究会」が設置された際、本年12月定例会までにとの協議期間の指定があったことから、今回の答申では、現時点での各分科会からの報告内容が尊重され、項目を列挙する内容となっており、今後の議会運営、議会改革の方向性、検討課題と位置づけることとなりました。

〔答申の内容〕

(1) 萩市議会議員の議員報酬について

議員報酬は、萩市特別職報酬等審議会に市長が諮問し、審議の経過を経て決定されることから、萩市特別職報酬等審議会に委ねたい。

(2) 萩市議会委員会条例について

① 常任委員会の設置数

・ 3 常任委員会（総務委員会・教育民生委員会・経済建設委員会）とする。

② 常任委員会の委員数

・ 総務委員会、教育民生委員会及び経済建設委員会の各委員会については、萩市議会委員会条例第2条に基づき、その内容を精査し各委員数を決定する。

③ 常任委員会の任期

・ 現行の1年とする。但し後任者が選任されるまで在任する。

④ 議会運営委員会

・ 議会運営委員会の委員定数は、現行の先例・申し合わせ事項を適用する。各会派の推薦委員の人数は、所属議員数の按分により各会派に割り当てる。

⑤ 常任委員会及び議会運営委員会の日程

・ 現状でよい

(3) 常任委員会の運営について

・ 各委員会の開催日を委員会ごとに開催することについて（今後の委員会TV放映や他委員会の傍聴機会を考慮して）

(4) 一般質問について

・ 質問方式・持ち時間については現状でよい

(5) 市民への議会の見える化について

① 政務活動費について

・ 萩市議会公式ホームページに各議員の用途について費目ごとに掲載する

・ 視察報告書は議員各自が作成する

・ 市民より使途についての説明を求められた場合、議員が責任をもって説明に当たる

② 市民の意見を聞く会・議会報告会の開催について

(6) 議会の災害対応マニュアルの策定について

(7) 市議会議員選挙と市長選挙の同時執行について

(8) 議会基本条例の策定について

(9) 議員倫理条例の策定、申し合わせの策定について

(10) その他意見として

議会運営については、既定の例規、申し合わせ等を遵守する。今後、議員定数削減に関連する手続きを含め、必要な検討事項が発生すれば、その都度検討する。

〔今後の対応〕

項目により現状維持でよいもの、変更が必要なもの、意見集約に至っていない事項等もありますが、今後は議長において必要に応じ、議会運営委員会に諮問するなど適切に対応されることとなります。

一般質問

12月7日から9日まで18人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。

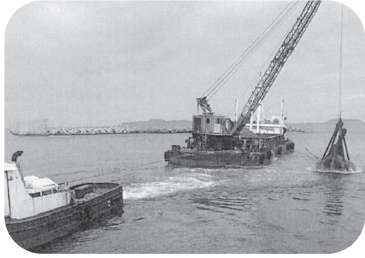


大久 勲
(新友会)

玉江浦地区河川・港湾周辺の浚渫工事は

【問】玉江浦地区で漁業を営む方の死活問題である河川・港湾周辺の浚渫工事について、本年6月議会でご質問させて頂きました。来年度からの着手ということでしたが、実施主体が県なのか市なのかも含めて、予定される工事の詳細をお伺いします。

【答】玉江漁港の河口部については、航路を確保するために、今年度も浚渫工事を行っています。現在橋本川河口部に防砂堤を建設するための事業計画を策定中で、事業採択が決定すれば、萩市が事業主体となり、平成28年度に実施設計を行い、平成29年～30年度にかけて工事を実施することとしています。1日も早い航路確保に向け、事業を推進していきます。



浚渫工事

《他の質問項目》
。福菜ふるさと祭りの運営に関して
。旧明倫小学校グラウンドについて



関 伸久
(過疎問題を考える会)

SEガーデン萩の教訓を今後どう活かすのか

【問】SEガーデン萩が、8月末をもって事業停止しました。同社は萩市が受け皿となり国の雇用対策事業として、昨年2月に設立した企業で、設立時に45名の若者を受け入れ事業を開始しました。この事業には1億6000万円を超える事業費が投入されています。説明では、1年間の委託事業であり、その責務は達成したとのことですが、疑問をもちます。今後、国が進める地方創生に呼応する形で新型の交付金が交付されます。このような委託事業も増えてくるでしょうか。

【答】SEガーデン萩との委託業務は1年間滞りなく行われました。事業継続はできませんでしたが、ここで学んだ若い皆さんが自分達で起業し、SEガーデン萩が行っていたホームページの維持管理等の事業を継続されています。今後、このような事業については、慎重を期して調査、選択等を行い、同じような轍を踏まないように細心の注意を払って対応していきます。リースの予算執行に当たっては、萩の事業者を選択するよう考えていきます。

《他の質問項目》
。高校新卒就職者の市内就業率向上の為、在学中のアルバイト解禁ができないか



森 田 哲弘
(無所属)

条例に基づいた地域生き残り策、萩の創生は

【問】萩市では、都市部のように経済ポリュームがなく、人口減少が加速しています。市内事業者は都市部より行政の取引のウエートが高くなっており、行政との取引なしでは生き残れない事業者もあります。現状のまま安易に安さだけで競争させるような入札を続けて行くと、デフレからの脱却が出来ず、地域の商工業者が衰退、撤退により減少していき、また身近に業者がいなくなる不便さにより人口減少が加速する可能性が高いと考えられます。

【答】市内の事業者においても行政より個人や民間事業者との取引が多いと思います。また市内事業者が減少したのは、量販店の進出など様々な背景があると思います。萩市の指名業者の優先順位は①事業を行う各地域の事業者②市内に本店を置く事業者③市内に契約締結権を有する事業者④契約締結権が無くとも市内に営業所を開設している事業者となつていきます。できる限り地場の事業者を優先する考え方で努力しています。



高齢者への温かみの
ある支援策を

中野 伸
(新生会)

【問】高齢者は買物に行くにも困難な状況にあります。特に暖房に必要な灯油の購入の際には、18歳という重い灯油缶を運ぶことになり、車のない高齢者にとっては容易なことではありません。石油ストーブが原因で火災が発生することもあります。

そこで、再生エネルギーの活用にも貢献できる木材チップを燃料とする暖房器具を推奨し、購入への支援はできませんか。

【答】木質バイオマスを燃料とするペレットストーブにつきましては、再生エネルギーの活用の観点から理念としては素晴らしいと思いますが、家庭用として利用するに当たっては、まだまだ改良の余地があると思っています。ペレットストーブの軽量化及び低廉化が図られ、ペレットの搬入等につきましても簡易になれば、独居の高齢者の方及び高齢者夫婦世帯に対しまして、設置に当たっての補助等を考えて行きたいと思えます。



ペレットストーブ

《他の質問項目》
。むつみ診療所の改築について



東部地区の医療の危
機にどう対応するか

宮内 欣二
(日本共産党)

【問】田万川地域の民間医療機関が休止し、無医地区になる恐れが出てきました。この現状をどう認識し見通していますか。最悪の場合を想定し、どんな対応を考えていますか。休診が長引くようであれば代わりの医師を派遣するか、別の医療機関を誘致するか、医師が確保できなければ、地域の人たちが近隣の医療機関を受診しやすい体制をつくっていく必要があります。

地域交通体系の見直しを含めて、東部地区の医療の見直しと対応をどう考えていますか。

【答】田万川地域の医療機関が諸事情により休止となりました。現在、弥富診療センターと須佐診療センターで応急対応するとともに、患者の方の通院支援を行っています。今後については、患者の方の希望や休診されている医院の意思を確認しながら対応を行っています。

超高齢社会における東部地域の医療体制の問題は、大きな課題でありますので、萩市医師会とも協議しながら、早急に方向性を定め対応を検討していこうと考えています。



須佐診療センター



アジアナ航空の運航
に発奮して

大村 起夫
(無所属)

【問】国はインバウンドを推進、知事も県内企業の世界進出を視野に、韓国アジアナ航空に定期便の就航を申し入れています。今年も12月4日、チャーター便の初便が山口宇部空港に到着し、160人余りの韓国人ツアー客が降り立ちました。入国ロビーでは、萩の夏ミカンの香りが漂うという演出がなされました。

萩市も、この韓国からのツアー客60000〜80000人の入込みに、知恵を絞って頂きたいと思えます。

韓国からのお客様を歓迎するハングル表記の看板やパンフレットを充実させてみませんか。お伺いします。

【答】昨年約30000人が利用した山口宇部空港と仁川（インチョン）国際空港との間の国際連続チャーター便が今年も運航されます。萩市へのツアーも5つのコースが組み込まれており、多くの観光客の入込みが期待されることです。こういった外国人観光客の受け入れにあたっては、現在も外国人観光客向けのパンフレットを作成しています

が、更に充実したパンフレットの製作について考えてみたいと思えます。



観光パンフレット

《他の質問項目》
。全国フラワー都市交流連絡協議会について



平成28年度予算編成に 対する市長の方針は

斎藤 眞治
(新生会)

【問】 新年度予算編成の査定が始まっていますので、次の内容をお尋ねします。

①旧椿東保育園跡地活用を含め、萩市普通財産の活用状況、更に売却・貸与の場合の公開についてお尋ねします。

②長山町及び中津江の方から、まあーるバスの運行コース延長の要望がありました。そこで、市民や観光客等の現実的な利便性を加味した、全体的なコースの見直しについてどう考えますか。

③離島振興に欠かせない見島航路の運賃軽減を求める島民の声に応えるため、運賃軽減のための予算化はできませんか。また、地場産業である農漁業や観光振興、島外からの交流人口の増加及び若者の移住・定着により有人国境離島を守るための見島創生「島の駅」構想への支援についてどう考えますか。

【答】 ①旧椿東保育園跡地は、来年の土砂災害特別警戒区域の指定後、処理方針を検討します。普通財産は、中長期的な視点で活用を考えていきます。売却等の処分は、一般競争入札が原則です。②まあーるバスの運行コースについては、萩市全体の交通体系の中で総合的に検討していきます。③見島航路運賃の軽減については、国境離島新法の動向を見ながら検討していきます。また「島の駅」の支援については、離島の現状を踏まえた支援を考えていきます。

《他の質問項目》

萩市の組織改革、保育行政について



健康寿命を延ばす 施策は

棕 晶雄
(過疎問題を考える会)

【問】 健康寿命を延ばし、自立した生活を長く保つことは誰もが望むことです。自身にとつても、ご家族にとつても望ましいことです。そして、保険料の負担も軽くなります。健康寿命を延ばすために必要と思うことは、

- ① 各自の健康への意識
- ② 健診を受けること
- ③ 歯の健康
- ④ 継続して運動をすること
- ⑤ サロンの活用

このような点に関する施策を市独自に検討すべきと考えますが、市長の所見をお尋ねします。

【答】 萩市民の健康寿命は、県内で男女ともに低い水準にあり健康寿命を延ばすための取り組みが急務となっております。例えば努力目標を「めざせ減塩6グラム!」「毎日なかまと楽しく体操!」「地域にしよう!活動しよう!」というような誰もがわかりやすい標語として定めて、健康寿命を延ばすための運動を広げようと考えています。食生活や運動習慣、生活様式を変容させ、健康寿命を延ばす具体的な取り組みを展開していく方針です。



ラジオ体操

《他の質問項目》

空家の利活用を進めるための施策について



子育て環境の充実を今 後どう進めて行くのか

西中 忍
(過疎問題を考える会)

【問】 萩市では、人口ビジョンと総合戦略を策定し、人口減少や少子化という困難な課題に取り組もうとしています。その戦略の効果で出生数がどうなるか見込んでいるのか、お尋ねします。一方で100人を超える園児を受け入れてる土原保育園の閉園を進めています。同園の閉園と総合戦略は整合性が取れていると考えていますか。また、これにより市の保育環境がどう変化すると考えているのか、市長の所見をお尋ねします。

【答】 総合戦略等により合計特殊出生率(一人の女性が一生に産む子どもの平均数のこと)が1・65に上昇すると年間出生見込は265人となります。この見込から、萩地域の川内における保育園等の利用見込を試算すると429人となります。一方で、川内の民間保育園等の定員は448人となっており、出生率の上昇を見込んでみても待機者が発生することはありません。萩市は県内トップクラスの経済的負担の軽減等に取り組んでいます。今後子育てしやすい、安心して利用できる子育て施策の充実に努めます。



土原保育園の様子



離島の減災対策と環境
整備、安全・安心を

長岡肇太郎
(新友会)

【問】「エルニーニョ勢力最大に・異常気象へ備えを」「私たちが直面しているエルニーニョ現象により、世界各地の天候に影響を及ぼしている」と報道されています。萩市東部地域の「7・28」の大災害を教訓に、これからの離島の減災について、考えなければなりません。

周囲が山林で農地は畑主体であり、大雨の時は水等が側溝から溢れ、生活道も含め道路が水路に変わる状況です。離島の地形を考え早期に欠陥を補強することを望むところです。安全・安心が第一です。市長の思いをお聞かせください。

【答】萩の島は火山であり、地質学的にも珍しいフラットな構造です。東部集中豪雨災害と同じ1時間に138・5ミリの雨が大島に降ると学校への道（市道西側地寺山線）を水が下ると思います。この雨量では、どの地域であっても具体的な被害を想定することが難しいと思いますが、離島においては災害時に地元の消防団が当面の力となることや離島特有の地形を考慮するとともに平成11年の豪雨の経験を踏まえて、今後の雨水対策を考えてみたいと思います。



大雨時の様子



改正農業委員会法
の成立を受けて萩市の
対応は

平田啓一
(新友会)

【問】本年の通常国会で「農業委員会法」が改正され、来年4月1日より施行されます。大きな変更は農業委員の選出方法が、これまでの公選制から市長の選任制に改められたことです。どのようなプロセスで選任されるのか、選任の公平・公正をどう保てるのかお伺いします。

また「農地利用最適化推進委員」が新設され、各地域で担い手への農地利用集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消などに取り組むとされています。今後、農業委員と推進委員の役割分担と同時に、協調と協力が必要と思いますが、どのような体制作りをされるのか、また、農業者や農業法人等への説明や制度の周知の方法をお伺いします。

【答】萩市農業委員の選任は平成30年3月8日から適用となります。

農業委員の選出方法は、まず市が推薦・公募を実施します。その情報を整理し、公表します。その後推薦・公募の結果を尊重し、選任議案を作成して市議会に上程し、議会の同意を得て任命します。

農地利用最適化推進委員については、農業委員や農地中間管理機構と密接に連携しながら、現場活動を積極的に行うこととなります。

今後、市報やホームページ等で周知を図りたいと思います。

《他の質問項目》

○日本ジオパーク認定に向けての取り組みについて



引きこもり対策は

佐々木武夫
(公明党)

【問】全国で引きこもりの方が26万人いると言われています。萩市でも悩む家庭が増えていますが、表面上は分かりづらく、その支援が十分とは言えません。家庭では親が、そして本人が一番悩んでいます。「何かあつたら相談しなさい」ではなく、能動的に働きかける「社会福祉システム」が必要です。「支え合いマップ」で当事者が地域の誰とつながっているか互助の姿を見えるようにし、問題点を明確にするれば役割分担も可能になります。このような近所の人達の「支え合いマップ」が作成できませんか。親がいる場合はよいのですが、親もいなくなり財産を使い果たし、不就労で生活保護になるという現実が目前にあります。そうなる前の就労支援対策もお伺いします。

【答】支援を求めている方に対しては、萩市子ども・若者総合サポート会議や生活困窮者を包括的に受け止める自立相談支援専門員、こころの健康づくりを推進する保健師等が関係機関と連携し、就学・就労に向けて支援を行っています。しかしながら、本人や家族からの自発的な申出が得られにくく、実態の把握が困難であることが課題です。潜在化しているニーズに対して、まずは支援の手が届くように、積極的な働きかけを行ってまいります。

《他の質問項目》

○高齢者の認知症対策について

○低炭素社会に向け再生エネルギーの地産地消・まちづくり対策について



スポーツによる交流
人口拡大を（スポーツ
ツーリズム）

松浦 俊生
(無所属)

【問】スポーツツーリズムとは、スポーツと観光を融合した取り組みです。スポーツを「観る」「する」だけでなく、大会等の運営に協力するボランティアや、マラソンを沿道で応援する「支える」人々も含めての考えとされています。萩市は新しい観光の方向性として、滞在型・体験型を目指しています。このことに関連し、既に実施されている萩往還ワンデーウォークと、萩城下町マラソン大会へ県外から参加した人数と対策をお尋ねします。

【答】萩往還ワンデーウォークは「歴史街道を歩こう」をキャッチフレーズに平成22年に始まりました。毎回約1200人の参加があり、その内約100人が県外からの参加者です。今後も萩往還を更にPRし、観光シーズンオフの対策としても県外からの参加者を増やしていきたいと思えます。萩城下町マラソンは、近年4000人以上の参加があり、その内約1100人が県外からの参加者です。大会前後はホテル、民宿等が満室の状態です。



萩城下町マラソン



生活習慣病予防の
推進を

佐々木 公恵
(公明党)

【問】企業などに所属している人は、職場で健康診断を受ける機会がありますが、個人事業主や専業主婦などは健康診断を受ける機会が少なく、特に若い世代の受診率が低いと指摘されています。他市では健康志向と、市民の健康寿命延伸を目的に、官民連携による取り組みとして、コンビニと自治体が健康協定を結び、いわゆる「コンビニ健診」を実施しています。身近なコンビニだから健診を受ける気になったと、多くの若い人が健診を受けています。市民の生活習慣病予防の取り組みの一環として「コンビニ健診」について市長の見解を伺います。

【答】一部の市ではコンビニで健診が受けられるなど他の保険者や民間事業者等と連携した工夫ある取り組みが行われているようです。萩市においては、がん検診を実施する際すでに農協や漁協、スーパーマーケットなど民間の企業や団体から会場を提供していただいております。がん検診だけでなく、いろいろな場で健診を実施できるよう、他の保険者や民間事業者等と連携し努力してまいります。



長野県松本市のコンビニ健診

《他の質問項目》
。人権教育の取り組みについて



田町アーケード街の
活性化を

守 永 忠 世
(無所属)

【問】萩市では、色々な観光客誘致の施策あるいは対策等実施されておりますが、更なる観光客増員を目指して訪日客が買物をする際の消費税を免除される免税店を開設されたら如何でしょうか。免税店は食料品や化粧品、酒類を含む全品目に対象が広がった昨年10月以降、急速に増えております。国、県においても観光産業の一つとして、大いに力を入れております。

市の田町アーケード街の空き店舗を活用して、免税店を開設し、旅行者・観光客を誘う事は、商店街の灯りを再び取り戻すこととなります。

市の将来の発展は田町アーケード街の活性化無しには無いと思っております。市長の考えをお尋ねします。

【答】現在、多くの外国人旅行者が日本を訪れています。その背景としては、円安の影響で外国人が安価にも日本を観光できるということがあります。全国的にも免税店が拡大しており、萩では、量販店と衣料品店の免税店があります。免税店の開設にあたり国や県が助成してくれるかどうか、仕組みや技術的なノウハウを研究していきたいと思えます。また田町商店街での免税店開設については、状況を見ていきたいと思えます。

《他の質問項目》
。子供の貧困について



田町アーケード街



どうする萩市の 医療・介護問題

五十嵐 仁美
(日本共産党)

【問】①国・県からの慢性期病床の削減を求める課題にどう取り組みますか。

②病床を減らし、在宅医療・介護が推進されていますが、市のサポート体制はどうかですか。

③これ以上介護が必要な人を増やさないためには、健康寿命を伸ばす町づくりが不可欠となりますが市では、どのような取り組みを考えていますか。

④民間の事業所で、認知症予防の一つとして「認知症カフェ」への取り組みが始まっています。こういった事業への市の助成はできますか。

【答】大幅な病床数の削減を提示されていますが、超高齢社会であるため異論を唱えており、地理的社会的経緯を踏まえて考えてほしいと要望しています。在宅介護のサポートは、在宅医療・介護連携、認知症施策、地域ケア会議、生活支援サービスの充実・強化の4本柱で取り組んでいます。健康寿命の延伸は、減塩や体操、地域活動など具体的な取組を展開いたします。また、「認知症カフェ」への助成は家族会などの住民主体の運営への支援を検討します。



病院のベッド

- 《他の質問項目》
- 予防接種について
- 世界遺産のバス運行について
- 佐々並の市道について



社会福祉協議会の統合で支所・事務所の 今後はどうなる

美原 喜大
(新友会)

【問】昨年12月議会で、社会福祉協議会（社協）の統合の件で、市長の答弁は「社協の統合を知らなかった。理事会での決定事項ではなく、総合事務所の組織の見直しと合わせ考えて行く。」という事でした。その後の状況をお聞きます。社協の窓口は身近にある事が重要です。統合により職員数が減るにしても、現在の相談窓口は維持・継続する事が大切です。そこで「地域力の維持・向上に資する萩らしい拠点づくりへの対応」として、社協の窓口（支所・事務所）を総合事務所の中に設置して、市の福祉分野と協働する事により、補完し合う体制をとる事ができませんかお尋ねします。

【答】現在、社会福祉協議会と協議を行っています。地区社協の問題などもあり、具体的な内容は決まっています。超高齢社会を迎え、財源や人員、各種事業への取り組みなど様々な課題を整理し、お互いが手を取り合っつかりと対応していく必要があります。総合事務所の中に事務所を設置することも議論していますが、社会福祉協議会においても機関決定が必要となりますので、引き続き連携を取りながら進めていきたいと考えています。



移転が待たれる社協

- 《他の質問項目》
- 地域力の維持・向上に資する萩らしい拠点づくりについて



漁業後継者の確保と 育成をどのように進 めていくか

石飛 孝道
(新志政和会)

【問】萩市において漁業従事者の平均年齢も年々高くなり、このままでの状況が続くと、数年後には漁業従事者が激減して、市の水産業が成り立たなくなることも過言ではありません。これから、新規漁業従業者が着実に就業できるように、就業者に対する支援を全力で進めていく必要があります。しながら、志半ばでリタイアされる方もおられることから、その要因を突き止め、今後の取組みの中で活かしていくことが必要です。地域・協力団体・行政が連携を取り、後継者を育てていかなければなりません。市長の考えをお尋ねします。

【答】萩市の漁業従事者の平均年齢は、平成25年漁業センサスでは60・3歳、10年前は57・5歳で高齢化は年々進んでいます。離職者は、過去5年間の新規漁業従業者57名の19%を占め、ほとんどが漁船の乗組員で近年の不漁等が影響しているものと思われます。今後も、漁協、県地域と連携して新規漁業就業希望者へ研修支援等を行い、後継者を確保するとともに、離職者の減少に努めていきます。



出漁準備

総務委員会

廃棄物搬入手数料収入の減少により負担金増



清掃工場 はなもゆ

総務委員会には、平成27年度萩市一般会計補正予算(第3号)を含む議案8件が付託され、審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

- 萩・長門清掃一部事務組合負担金事業
 - 事業についての概要説明後、同組合へ拠出する負担金が増えた理由や廃棄物の当初見積量・搬入状況について質疑が交わされました。
 - 問 平成27年4月から9月までのゴミの直接搬入量はどれくらいですか。
 - 答 萩市は2604tで長門市は2270tです。
 - 問 廃棄物の処理状況はどのようになっていますか。
 - 答 萩市は増えています。長門市は減少しています。なぜ長門市は廃棄物が減少しているのですか。
 - 答 事業所からの持ち込みの減少及びリサイクルに回す量が増えたためです。
 - 問 廃棄物処理手数料収入の当初予算額と決算見込額はいくらですか。
 - 答 当初予算額は1億6474万6千円で決算見込額は1億4174万7千円です。
 - 問 公共施設から出る廃棄物の処理手数料は有料ですか無料ですか。
 - 答 無料です。
 - 萩ブランド海外販路開拓事業補助金事業
 - 問 どのような事業ですか。
 - 答 萩の地場産業の活性化を図るため、海外の販路開拓を進める取り組みを行う萩ブランド協同組合の活動について支援する事業です。
 - 問 どこに行つて何をするのですか。
 - 答 台湾で萩焼・萩ガラスの海外PRに向けた展示会商談会を開催するものです。
 - 問 萩ブランド協同組合は何社が現在加盟されているのですか。
 - 答 現在11社が加盟しています。

教育民生委員会

老人保健施設かがやきを廃止し 特別養護老人ホームかがやきを増床



萩・福祉複合施設 かがやき

教育民生委員会には議案12件が付託され、審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

- 平成27年度萩市病院事業会計補正予算について
 - 問 医師が2名減っているが、定数はありますか。充足していますか。
 - 答 医師が18名から16名になりました。薬剤師、検査技師、理学療法士などは足りています。しかし、看護師に欠員があります。病棟の勤務体制のシフトを組むことが難しい状況です。夜勤は月に72時間の制限があり、足りない部分は手術室の看護師等の部署より応援に来てもらっています。看護学校へ出向いてお願いをして、常時募集をしています。
 - 問 補正予算で給与が、大きな減額になっているのはどうしてですか。
 - 答 医師の異動により、医療職給料表に基づき支払うものです。
 - 萩市休日急患診療センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
 - 問 この条例は、診療時間を規則において定めるものですか。
 - 答 診療開始時間が午前8時から午前9時〜1時間繰り下がり、午後4時から午後5時までの1時間は休憩となります。
 - 問 これは条例ではなく、規則に変更した理由はどうしてですか。
 - 答 医師不足のため、医師を24時間拘束するのは難しい状況があります。医師確保のため柔軟に対応できる規則としました。
 - 萩・福祉複合施設かがやきの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
 - 問 どのような条例ですか。
 - 答 萩市老人保健施設かがやきを廃止し、萩市特別養護老人ホームかがやきの入所定員50名を130名に変更するものです。
 - 問 確認ですが、老人保健施設はなくなり、改装し特別養護老人ホームの増床としますか。
 - 答 はい。12月現在、老人保健施設かがやきの定員80名に対し、54名の入所者があり、内53名が要介護3以上という事で、改修後の特別養護老人ホームかがやきにそのまま入所の予定ですが、要件に該当しない1名の方の対応はどうなっていますか。
 - 答 ケアハウスや養護老人ホームなどで対応します。
 - 問 新規の募集についてはどうですか。
 - 答 審査会で決定します。

財産の無償譲渡～ 萩市所有造林地の収益分収権等の一部を公益財団法人やまぐち農林振興公社へ

経済建設委員会に付託された議案8件は審査の結果、すべて可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

- 財産譲渡の概要
 - これは公益財団法人やまぐち農林振興公社の経営改善のため、当該公社と萩市が昭和41年〜平成13年の間に締結した分収造林61件に係る収益の分収権及び、分収造林立木の共有持分権の一部を当該公社へ無償譲渡するものです。
 - 契約の現状は、契約面積62件715・78haであり、このうち経営面積684・88ha、経営不能な除地30・9haです。また、植栽樹種はスギ65・30ha、ヒノキ555・54ha、マツの人工林26・38haで、契約期間は昭和41年〜平成93年の間であり、期間は70年及び80年の2種類があります。
 - 分収率は、これまで61件が公社60%、萩市40%の割合でしたが、この度の無償譲渡により公社70%、萩市30%とするものです。
 - 当該公社の改善計画
 - 今後の長期収支見通しは、昭和41年〜平成81年の期間において、伐採収入・補助金・借入金等の収入と、実質元利償還金・分収交付金等の支出を比較すると、528億円のマイナス収支となります。そこで経営改善計画では、県からの財政支援や公社の経営改善・分収割合の見直し等の森林所有者への協力依頼により、529億円を拠出し、528億円の赤字から1億円の黒字へ転換して分収林の経営を継続していくとのことです。
 - なお、長期収支が悪化した主な原因は、社会情勢の変化により、木材価格の低下(昭和55年頃ピーク時の1/4)と労務単価の高騰(昭和50年の3倍)によるものとのことです。
 - 財産の無償譲渡の審査について
 - 経営改善計画での長期収支見通しに関する木材価格の設定基準は、どのように決めていますか。
 - 答 長期見通しであり、現在の価格で設定しています。
 - 問 今回対象とされる森林の地域別の所在地はどうなっていますか。
 - 答 各地域別の件数・面積は次の通りです。

経済建設委員会

地域	件数	面積
萩地域	5	43.49ha
田万川地域	21	243.87ha
むつみ地域	1	36.56ha
須佐地域	10	94.15ha
旭地域	20	299.67ha
福栄地域	4	62.53ha
川上地域	—	—
合計	61	710.27ha

聞く 学ぶ 活かす

行く 見る



3つの常任委員会は、10月に行政視察を行いました。12月定例会では、視察の成果を元に多くの議員が一般質問を行いました。

総務

精緻な人口推計総合戦略

栃木県那須塩原市

○まち・ひと・しごと創生総合戦略
 ○市内立地企業への奨励制度の創設
 ○市民の健康増進
 人口ビジョンが精緻な分析と経験値によって推計されていました。定住促進計画で培ってきたPDC Aサイクルが機能し応用力がありました。開拓者を受け入れてきた歴史の中で「選ばれしまち」としてのフロンティア精神を引き継いでいます。



特色ある施策は、大企業の立地促進、移住促進として新幹線通勤者に交通費の補助、三世代の同居・隣居の新増築への補助がありました。また萩市出身の青木周蔵別邸や農場がありました。

社寺事業者 行政一体で誘客

栃木県日光市

○世界遺産「日光の社寺」の魅力発信・誘客事業
 99年に世界遺産に登録された「日光の社寺」について、魅力発信・誘客促進事業がどう取り組まれているか、交流客の拡大、地域資源の発見などを調査しました。

魅力発信・誘客促進事業
 社寺・行政・観光事業者・交通事業者・NPO 20人で構成していました。その下部組織として9人でプロモーション委員会を設け、観光パンフレットやPR用ホームページを作成しています。

問 JR日光線の乗客の半分程度が外国人客というところもあり、7か国語で対応したパンフレットを作っていました。

社寺・行政・観光事業者・交通事業者・NPO が一体となって誘客を図っています。

問 年間1000万人の観光客だが、遺産登録後の動向は。

答 登録後は増えたが5年で元に戻った。東北大地震の影響が大きく2割落ちた。震災前の水準に戻すため、誘客推進事業を行っている。

入札見直しの効果はでているか

神奈川県座間市

○入札制度の見直し
 ①指名競争入札と一般競争入札の見直し
 ②入札方法の見直し（電子入札）
 ③地域優先発注の見直し
 ④予定価格の事前公表
 ⑤検査体制の充実
 ⑥低入札価格調査制度の採用
 ⑦最低制限価格の採用

問 入札見直しによる落札率の変化はあるか。
 答 98年の談合事件以後低くなった。2008年一般競争入札導入後85%程度。13年は89%。この数年高くなっているのは歩掛りの変更、震災、オリンピックの影響が考えられる。

問 地域優先の見直しの状況はどうか。
 答 地域優先をやめて、事業規模による一般競争入札にした。入札参加者は平均7.2社、最大8.5社。電子入札の導入費用はいくらか。
 答 年平均で76万円程度。県内30の自治体でいっしょに実施している。スピーディーで効果的だ。

経済建設

スポーツで交流人口を増やす

三重県熊野市

○スポーツによる交流人口の拡大と活力及び潤いのまちづくり
 熊野市では、スポーツの交流を市の活性化の中心におき、これを観光と結び付けて経済の活力にしています。

具体的には、温暖な気候を活用してソフトボール大会や野球大会、ラグビー大会の試合開催や合宿等の誘致による交流人口の拡大を進めており、多くの自治体同様に人口減少が進む中、官民一体となった取り組みが行われています。

移住のまちづくり

NPO法人ふるさと回帰支援センター 大阪情報センター

○ふるさと回帰への支援

NPO法人ふるさと回帰支援センターは、大阪市の中心にあるシティープラザ大阪1階において、田舎暮らしをしたい方をNPO加入自治体へ斡旋するなど、「移住したい」と「移住させたい」をマッチングさせる取り組みを行っています。山口県も加入し、県内自治体の窓口となっています。

小中一貫教育 慎重に準備

福島県郡山市

○「小中一貫教育」

郡山市では、よりよい教育環境の中で子どもたちを学ばせたいとの地元の強い要望から、平成17年に5つの小学校を統合し、中学校に併設して、小中一貫教育を始めました。市独自の取り組みとして、地域の交流の場を校内に設けています。指導の連続性、学校連の地元の強い要望から、営の一貫性などの他、平成17年に5つの小学校を統合し、中学校に併設して、小中一貫教育を始めました。

「ハードよりソフト」を常に考えながら課題解決型一貫校としてやってくるというところから、2年かけて作っている一貫教育を始めるための準備は念入りに行われていました。

現在、萩市で検討中の福栄小・中学校は、ゆるやかではあります。一貫校でもあり、地域の住民の支援体制を含めた、小・中1ギャップは一貫型教育です。子どもたちの行事も尊重する事により「デメリット」にメリットを求められます。



教育

市民健康寿命延長に行政が一体に

長野県松本市

○「健康寿命延伸都市」の取り組み

松本市は市民一人ひとりの心と体、そして、市民が暮らす松本の町が健康であるために「健康寿命延伸都市・松本」の創造をめざすことを宣言しています。

市民、産・学、行政が一体となって、健康寿命を延ばすという一つの目標に向かっていました。特に1次予防を重視し、保育園や小学校など子どもの時から生活習慣病予防、働き盛りの世代では職場に入り、高齢者には地域で認知症予防など、体力健診と生涯を通じた健康づくりに取り組んでいました。さらに、食に関する分野や企業、医師会との連携も進めていました。医療・介護難民の問題を抱える萩市でも、行政と住民と企業が協働して、住民が主体的に健康寿命延伸を進めるという姿勢は、大いに参考になります。

6億1,217万円の追加 一般会計補正予算

平成27(2015)年度12月補正予算(第3号)の概要

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
322億1,618万5千円	6億1,217万7千円	328億2,836万2千円

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業内容	補正額
【職員人件費】	◎早期退職による退職手当の増額と人事異動、人事院勧告にともなう給料の調整 共済組合負担金の標準報酬制度移行による共済費の負担率の変更、災害関連の時間外勤務手当の減額などの人件費調整。 給料2,090万1千円 職員手当2,658万3千円 退職手当2億9,283万4千円 共済費3,718万3千円	377,501
【議会運営事業】	◎人事院勧告による職員の勤勉手当の引き上げに合わせて、議員の期末手当を引き上げる経費の補正	895
【財政調整基金管理事業】	◎法律に基づき前年度からの繰越金の1/2を下らない額の積み立てを行う。 3億2,740万1,244円×1/2	163,701
【補助金返還事業】	◎前年度の補助事業の確定にともない国から受け入れた補助金を返還するもの。障がい者支援関係2,393万4千円 子育て支援関係188万円 生活保護関係4,040万9千円 健康増進関係55万9千円 離島漁業再生支援交付金1,739万8千円	84,180
【萩・長門清掃一部事務組合負担金事業】	◎人事異動にともなう職員給与費等負担金の増加(A)77万6千円、廃棄物処理手数料収入の不足(当初見込みより長門市からの持ち込みごみ量の大幅減、無料の公共施設廃棄物の見込み違い)分の増額(B)1,117万4千円繰越金の萩市精算額による減額(C)656万6千円 (A)+(B)-(C)	5,384
【上ノ原揚水ポンプ施設改修事業】	◎《新規》田万川地域小川上ノ原地区の揚水ポンプ施設が老朽化したため、今回はポンプの電動バルブを改修する。実施主体は田万川土地改良区。補助対象事業400万円 県50%、萩市30%、事業主体20%	1,200
【多面的機能支払事業】	◎農業の自然環境や地域資源の保全など多面的機能維持・発揮を担う地域の活動組織の区域拡大と新規組織の増加による補助金の増額。拡大面積113ha、組織の増加(萩・田万川・むつみ)。当初56組織1億3,448万3千円 国1/2、県1/4、市1/4	6,011
【損害賠償金支払事業】	◎大島の海水浴場の護岸で山口市の小学3年生がけがをしたことに対する慰謝料などの損害賠償金の補正。(A)損害賠償金30万1,516円、(B)すでに支払っている治療費、通院費、診断書料11万3,866円 (A)-(B)	188
【住宅確保促進事業】	◎山口県漁協が新規就業者用の住宅として借り受けた空家の改修事業の対象者が増加したため追加(三見地区)。補助対象事業105万円、萩市1/3、県1/3、事業主体1/3	350
【萩ブランド海外販路開拓事業補助】	◎《新規》萩ブランド協同組合が行う台湾での萩焼と萩ガラスの展示商談会事業への補助。補助対象事業267万5千円 萩市1/5、全国中小企業団体中央会3/5、事業主体1/5	535
【道の駅「萩往還」施設整備事業】	◎《新規》道の駅「萩往還」農産物販売施設に空調機を設置する事業。県1/2、市1/2	2,720
【農業施設災害復旧事業】	◎今年8月25日台風15号により被災したむつみ地域 長仙(農地23m)と福栄地域 下大沢田(農地14m、農業用施設、水路10m)の復旧事業。	5,199
【土木施設災害復旧事業】	◎7.28東部豪雨により被災した須佐地区港橋の山口県代行工事が年内に発注されることから、新橋梁に添架する上下水道管の設置工事。県負担金728万3千円	24,826

議員提出議案第7号

萩市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

第1条 萩市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（平成17年萩市条例第47号）の一部を次のように改正する。

第5条ただし書中「100分の162・5」を「100分の172・5」に改める。

第2条 萩市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を次のように改正する。

第5条ただし書中「100分の147・5」を

「100分の152・5」に、「100分の172・5」を

「100分の167・5」に改める。

※この条例は、市議会議員の期末手当を0.1ヶ月分引き上げる議案です。

○反対討論がありました

この議案は、人事院勧告に準じて、議員の期末手当を増額するという条例改正案です。

人事院勧告とは、公務員の給与水準と民間企業の水準を均衡させることを基本に行っているもので、「一般職」の職員と「特別職」である議員とは、区別されるべきと考えます。

また、経費削減を理由のひとつとして、議員定数の削減が決定され、市長選と市議選の同時選挙も提案されました。

経費削減を常に心がけている議員が、自分たちの報酬を増額するのに、十分な議論のないまま賛成するのは、議員の姿勢として矛盾していると思います。よってこの議案に反対します。

討論

平成27年度一般会計補正予算(第3号)

本予算の中には議会運営事業として、議員の期末手当引き上げの予算89万5千円が盛り込まれていることから、この予算案に反対します。

9月定例会では、議員定数を26人から20人に大幅に減員する条例が可決されました。その理由の一つに、財政削減が挙げられました。市民の声を市政に届け、市長の行う市政を監視する役割を担う議会が、議員定数を大幅に減らすことにより、その本来の機能を大きく低下させることは明らかです。議会の自殺的行為と言ってもいいほどです。

議会の権能を削ってさえ優先された「財政削減」の対象は、この期末手当にこそ、向かうべきが当然です。

財政削減を声高に言いながら議会自らこんな予算案を認めることとはできないではありませんか。本当に財政削減の意思があるのなら、この予算案に賛成すべきではありません。

反対

賛成

今回の主な補正予算に計上された事業は「萩・長門清掃一部事務組合負担金事業」「萩ブランド海外販路開拓事業補助金事業」「道の駅『萩往還』施設設備整備事業」などがあります。その他、早期退職者や人事異動及び人事院勧告に伴い人件費の調整を行うもの、地方財政法の規定に基づき財政調整基金の積立を行うもの、過年度に受け入れた補助金などの精算を行うものなどです。

また、当初予算編成後の状況の変化により早期に取り組み必要のあるものを計上したものです。

この一般会計補正予算案は、議員質疑でのやり取りや常任委員会での予算審議、各課からの説明や補正予算案の概要を通し、地場産業の活性化と地域経済の発展に寄与すると考えられます。

以上のことから賛成すべきと判断しました。



「長州ファイブ」 凄いですね
岡山から来ました。
Q 最初どちらに行かれましたか。
A 松陰神社を見学しました。世界遺産の登録やテレビで大河ドラマ「花燃ゆ」を見ていたので、とても感動しました。私は歴史が好きで、萩には前から来たいと思っていました。
Q 萩の印象はいかがですか。
A あの明治日本の産業革命の原点となる松下村塾の前に立ち特に思うことは「長州ファイブ」の事です。あの人達の努力によって明治日本の産業革命がなすとげられたと思います。また、萩に来てみたいですね。

早く来てみたかったんです

岡山から来ました。私はNHK大河ドラマ「花燃ゆ」を最初からずっと見ていましたので、早く萩に来てみたかったです。萩の印象はいかがですか。
A 小さい町ですけど素晴らしい所が沢山あり「素敵」ですね。



萩に来て感心しました

和歌山から来ました。
Q 萩の印象はいかがですか。
A 萩は歴史が大切にされていますね。私の住んでいる和歌山は、徳川御三家の殿様がいらしたので、和歌山城（虎伏城）は管理が十分ではなく、將軍「吉宗」の生誕地は小さな立て札があるだけです。萩に来て感心しました。



議員控室

「分煙室を！」

「喫煙」ここ最近世間では、肩身の狭いイメージです。このことが、この度の議会で話題となり、市役所の喫煙について議員の中で三つの意見が出ました。

①市役所は全面禁煙とし、外の喫煙所もなく。②我々喫煙者は、税金を払ってタバコを吸っているし、法律違反はしていないので、もう少し自由に吸わせてほしい。③受動喫煙が悪いのだから、市役所の中で人目の付かない所に煙の漏れない喫煙室を作ればよいのではないかと。皆さん

①③②の意見に賛同されますか。私は③に賛同します。10年前に禁煙したので喫煙される方の気持ちもわかります。私達50代は30年前、昭和景気の良き時代は、一生懸命働いて煙草を一服し、さらに本気で働く時代でした。たばこは労働意欲を駆り立てるものであると思いますし、萩市のたばこ税は年間約3億円あります。この様に悪いことばかりとは思えません。しかし受動喫煙のことを考えると喫煙には配慮が必要です。
「市役所に分煙室を！」喫煙する人しない人、同じ萩市民仲良くしたいけると良いのではないのでしょうか。

森田 哲弘

編集後記

今回も、編集委員のみなさんには、16ページにわたるボリュームを各自分担して精力的に遂行されました心から敬意を表し感謝を申し上げます。本年が、皆様にとりまして幸多き一年でありますように。

愚に耐よ 窓を暗す
雪の竹 (蕪村)
大村 勉夫

- 議会だより編集委員会
委員長 大村 勉夫
副委員長 佐々木公恵
委員
五十嵐仁美・石飛 孝道
小林 正史・松浦 俊生
美原 喜大・宮内 欣二
棕 晶雄

